



■ 省エネセミナー中小企業向け出前講座(2023.9.28) ■

宛先) 事業所のエネルギー管理責任者・担当者様、業界団体様

”事業所向け省エネセミナー”開催のご案内

こんなお役にたちます。

◆人手不足に対応

省エネ専門の人を確保するのは困難です。
効率良く行えば省エネの仕事は、そんなに大きな負担ではありません。
このセミナーを受講すれば、省エネの専門知識がない人でも本業をこなしながら、エネルギー管理ができます。

◆コスト削減(収益力向上)

省エネは、直接電気代やガス代などの光熱費削減となり、そのまま企業のコスト削減になり、収益力向上に寄与します。

◆SDGs対応の具体的活動の一つ

SDGsは、すべての企業が持続的に発展するために、世界共通で認識されている開発目標で、今や企業の必須ビジョンです。
省エネ活動は、その中の、NO.13「気候変動に具体的な対策を」に該当し、本業(経済活動)を通じて、社会課題解決にもつながる具体的な活動です。

1. セミナー名 事業所向け省エネセミナー

※ 業界団体や事業所単独の”出前講座”として
「4回コース」「単独コース」も可能ですので、ご相談下さい。

2. 主催 NPO法人栃木県環境カウンセラー協会

3. 詳細(内容、開催日時など)

回	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	8月21日(水)	9月18日(水)	10月23日(水)	11月20日(水)
時間	15:00~16:30	15:00~16:30	15:00~16:30	15:00~16:30
	90分	90分	90分	90分
場所	栃木県産業会館	栃木県総合文化センター(宇都宮県庁前)		
内容	①SDGsの中の位置付け ②エネルギーの基本 エネルギーとは 地球温暖化とは ③省エネ法とは ④企業のやるべきこと	⑤省エネの着眼点 ⑥省エネ事例紹介 約80の事例や 最近話題の事例紹介	⑦上手な進め方 活動計画書の作成方法 効果の出る進め方 上手な提案の仕方	⑧原単位の考え方 ⑨”エネルギー解析” のやり方
人数	先着 50名	先着 50名	先着 50名	先着 50名
受講料	各コース: ¥3,000/人 (資料代、会場費として)			

4. 講師 NPO法人栃木県環境カウンセラー協会 省エネ専門: 環境カウンセラー
担当代表: 野沢 定雄 エネルギー管理士
(平成21年度 省エネ大賞 省エネ診断プロフェッショナル 他
人材部門 経済産業大臣賞受賞)

5. 申込先 表面の申込み欄に必要な事項記入の上、FAX またはメール、電話にてお申込み下さい。

NPO法人栃木県環境カウンセラー協会
セミナー担当 野沢 定雄 (TEL: 090-3227-6816)
メール: 0207sadaonozawa@gmail.com

事業所向け省エネセミナーの骨子(全4回)

- 第1回 第1章 SDGs の中の位置付け
第2章 エネルギーの基本 エネルギーとは? なぜ問題なのか、地球温暖化とは
第3章 省エネ法とは
第4章 企業のやるべきことは
企業全体のエネルギー管理、工場ごとの規制(指定事業所)
原単位での管理と”毎年1%以上の改善”
体制を整備し、PDCAを回して管理する
エネルギー管理標準の整備
- 第2回 第5章 省エネの着眼点
消費量の大きいものを忘れずに(重点指向)
休日や夜間(稼働していない)の電力に注目
冷房・暖房の比率にも注目!
- 第6章 省エネ事例
・1編. 省エネは担当部門・担当者だけの活動にしない(全員参加の活動とせよ)
・2編. 省エネ担当者の役割は
・3編. 推進部門の上司は
- 第3回 第7章 省エネ活動の効率的な進め方(推進部門の役割)
第8章 原単位の考え方
第9章 省エネを正しく評価する解析方法



省エネセミナー講座風景

事業所向け 2019.7.6 作成

省エネセミナー(第1回)

第1章 SDGs の中の位置付け
第2章 エネルギーの基本
エネルギーとは? なぜ問題なのか、地球温暖化とは
第3章 省エネ法とは
第4章 企業のやるべきことは
企業全体のエネルギー管理、工場ごとの規制(指定事業所)
原単位での管理と”毎年1%以上の改善”
体制を整備し、PDCAを回して管理する
エネルギー管理標準の整備
(参考)2018年 省エネ法改正
環境カウンセラー 野沢 定雄

事前学習から

SDGs実施材料|優先課題(主な数値)|省エネ・再エネ、気候変動対策

省エネの着眼点

省エネの進め方

省エネの事例

省エネの解析

省エネの標準

省エネの推進

省エネの導入促進

省エネの気候変動対策

省エネの科学技術に関する研究開発の推進

第1章 SDGsの中の位置付け

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(these no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

出典: 環境省

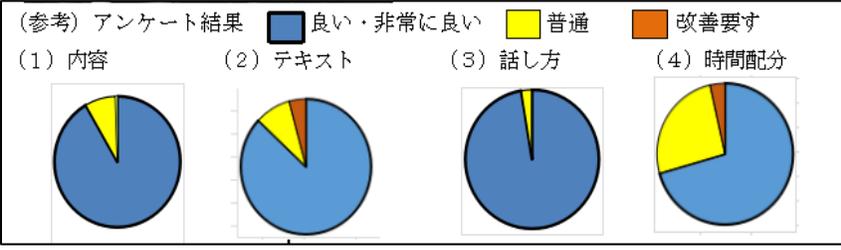
第2章 エネルギーの基本

(1) エネルギーとは?
化石エネルギー **** 石油、石炭、ガス など
自然エネルギー **** 太陽光、大規模水力、風力・地熱・波力 など
その他 **** バイオマス
原子力エネルギー **** 核融合(再生エネルギー)

(2) なぜ、エネルギー消費が問題なのか?
(=なぜ省エネを止めなければならないのか?)
産業革命以降の文明発展で、生活は変わり、エネルギー消費増加
◆資源の不足⇒資源の奪い合い(戦争)
◆エネルギー消費による、CO2増加
⇒地球温暖化・異常気象・生態系の変化 など

(3) 地球温暖化って何?

講座資料の例



受講者アンケート結果